

議案第24号

中学校教科書の採択に際して、教員や市民の声を尊重し、子どもたちに最良の教科書採択を求める要望書について

1 要望者

新日本婦人の会東広島支部

東広島市教育委員会  
教育長 津森 毅 様

2020年7月9日

新日本婦人の会東広島支部  
事務局長 佐藤みち  
[Redacted]

中学校教科書の採択に際しては、教員や市民の声を尊重し、子どもたちに最良の教科書を採択してください

この夏、来年度から使われる中学校の教科書（全教科）の採択が行われます。

子どもたちのすこやかな成長にとって、教科書はたいへん大事な教材です。日本国憲法に示された平和主義の理想と個人として大切にされる権利を深く考えさせ、主権者としての基本的な考え方を身につけさせるものであるべきです。

しかし、歴史・公民の教科書の中には、過去の侵略戦争をアジアの開放に役立ったと美化したり、公共の名のもとに個人の権利を後退させる記述がみられるものがあります。これらは、教育の中立性を損なうもので、日本国憲法に沿うものとは言えません。

現行の制度では、教科書は「教育委員会が採択する」とされていますが、どの子どももよくわかり、楽しい学習が進められるよう、より良い教科書が採択されるため、実際に使用する教員や保護者の意見を取り入れていただくよう以下の点を要望いたします。

- 一、 日本国憲法に示された理念にもっとも適切な教科書を採択してください。
- 二、 歴史の真実を正しく伝える教科書を採択してください。
- 三、 教員や働く保護者も参加できるよう教科書展示の開催日時の延長、開催場所を増やしてください。教育センターにもアンケート箱をおいてください。
- 四、 教科書採択が公正に行われるよう、採択にいたる会議の公開・傍聴を認め、市民の声を採択の資料にとり入れてください。オンライン会議の場合は、動画配信を行ってください。

東広島市教育委員会収受	
東広教指第3号	
2.7.-9	
処理期限	月 日
フォルダー名	保存年数